

『探究が進む学校のつくり方』（酒井淳平・梨子田喬編著：明治図書）の村上メモ

〔このメモは、同書の内容を村上感覚でまとめてみたものです。〕

仕組み・組織

- * 学習する学校・学習する組織〔システム思考〕
- * 効率的な仕組み・組織
- * 共同ビジョン
⇒ 気持ち・理解の共有
- * チーム力〔チーム学習〕
⇒ リーダーの意義
- * 安全・安心な職場
- * 見通しと計画
- * 原案の大事さ

ネットワーク

- * 組織的なつながり、個人的なつながりの両方が重要
⇒ 学校・生徒が外の組織・機関とが「思い」で繋がり、活動・活躍の質が高まる
- * 自分から踏み出す大事さ

《深化テーマ》

- * 「総探の探究」と「教科の探究的な学び」の在り方の吟味
- * 《カリ・マネ》と《学校マネジメント》の更なる一体化〔学校のつくり方〕

地域との関り

- * 地域を学ぶのではなく、フィールドとして捉える
- * 大人と繋がる、社会と繋がる意義

探究学習の推進

《良質な問い》

《最適解の模索》

《検証と評価》

教員の在り方

- 《業務の進め方・マインド》
- * 学習し成長する教職員
- * 専門性の向上・熟達
- * メンタルモデルの開発
- * 「思い」を形にする
- * 学校文化を耕す
- * 「思い込み」をほぐす柔軟性
- * 「学びの天井」を排す
- * 相互リスペクト
- * 「越境学習」：外と繋がる
- 《生徒への向き合い方》
- * 指導ではなく支援
- * 助言ではなく対話
- * 成長の可視化
- 《哲学（教育理念）》
- * 何のために探究をするのか
- * 卒業後のその先を考える
- 《研鑽》
- * 自分で考え実践し、振り返る

管理職の在り方

- * リーダーシップの発揮
- * 自ら学び続ける
- * 全体をコーディネート
- * 教員の良さを活かす
- * 挑戦の気運醸成

授業の工夫・視点

- * 探究の「学びの主体」は生徒、教員は「伴走者」
- * 授業の「成果物」は目的ではなく「ツール」
- * 「探究で培う力」は他教科の授業にも連動させる
- * 「理解」から「解釈」へ
- * 「判断」「決断」を鍛える
- * 「楽しい」学び

《探究が進む学校事例》

- ① 福島県立ふたば未来学園都市中・高校【ルール・ツール・ロール】
- ② 追手門学院中・高校【探究科（教科）・創造コースの手法の深まり】
- ③ 立命館宇治中・高校【コア探究の継承】
- ④ 聖ドミニコ学園中高校【教育研究チームの活動拡大、ゼミ方式】
- ⑤ 京都府宇治市立黄檗中学校【世界に日本茶を広める課題】
- ⑥ 東京学芸大学【高校探究プロジェクト：授業研究コミュニティ】

《管理職の取組好事例》

- ▽ 福岡市立福岡西陵高校〔和田美千代氏〕：コロナ禍のオンライン学習
- ▽ 〔船越裕氏〕長崎県立松浦高校：総探の構築、普通科改革